



明日は冬至です。冬至は、一年で最も日が短いので、太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が甦ってくることから、陰が極まり再び陽にかえる日という意の一陽来復（いちようらいふく）といって、冬至を境に運が向いてくる日なのです。みんなで上昇運をつかみたいものです。

2学期終業式 校長式辞

「愛と夢のある学校」の「愛のある学校」は人と人が温かい人間関係で結ばれている学校です。教室に入ると、なんか心が「ほっ」とする。心が温かくなる。ここにぼく・私の居場所がある。となっているといいなあ。

人間関係づくりの第一歩は、挨拶です。

「相手より先に、さわやかな笑顔であいさつ」ができたかな？

5点の人：7人ぐらい 4点：140人ぐらい 3点：90人ぐらい

2点：3人ぐらい 1点：0人

ある一流ホテルでは、笑顔で挨拶のトレーニングをしているそうです。この冬休み、家族や友達と笑顔のトレーニングをしてみたいかがでしょう。

次に「読書タイム」はどうでしたか。静寂の中で読書ができましたか。宿題や家庭学習は読書ではありません。集中して読むことができますか。

5点の人：40人ぐらい 4点：120人ぐらい 3点：70人ぐらい 2点：1人 1点：1人

冬休みには、ぜひ一冊読んでおきましょう。

次に、野間中学校最大のイベント野中祭。合唱コンクール、素晴らしかった。特に3年生の合唱は、昨年から大きな成長、いわゆる「飛躍」を感じました。

体育の部、今年から始めた応援合戦。応援のふりつけを考えるとところから始まった3年生は、今まで以上にリーダー性が問われた。その中で、俺たちが私たちがやらなくちゃという思いで取り組んでくれた。応援合戦も素晴らしかったが、一番感動したのは、閉会式への入場行進だった。応援練習を縦割り班で一緒にやるところから始まり、体育祭を一日ともに戦った仲間というか同士とともに行進する姿には一体感、心が一つになってる感じが伝わってきた。こうした意味で、野中祭は大成功だった。野中祭の企画・運営を中心になって進めてくれた生徒会、応援団など、リーダーのみなさん、すばらしい野中祭を演出してくれて、ほんとうにありがとう。

最後に一つ聞きます。野間中が好きな人？150人ぐらい。ありがとう。手を挙げてくれた人は、きっと野間中学校のために力を尽くしてくれた人だと思います。

それでは、みなさんよいお年をお迎えください。



「飛躍」を感じました

学年代表スピーチ

2学期を振り返って

私が2学期を振り返って、思い出に残っているのは野中祭です。

一日目の文化の部、合唱コンクール。初めてのコンクールということで、練習時間になっても練習が始められないことが多くありました。そのときに三役やパートリーダーで話し合い、練習方法を決めることで、少しずつクラスがまとまっていきました。アルトパートの声が聞こえなくなってしまったときにも話し合い、パートを移動してもらうなど話し合うことでよりよい合唱とすることができました。直前まで調整を繰り返し迎えた本番は、とても緊張しましたが、練習の成果を発揮することができました。

二日目の体育祭の部。私たち1年C組は、縦割りで3年B組とのチームでした。他のチームより人数が少ないため、応援合戦では、「いくらがんばっても負けるだろう」と諦めてしまう雰囲気になるのではないかと心配でした。練習し始めたばかりのころは、私は「声を出していいのかな」という気持ちで、声が出せませんでした。しかし、先輩が全力



1年代表

で声を出している姿を見て、私も声を出せるようになりました。そして、他のチームに負けたくないという気持ちがわき、練習に熱が入りました。結果としては負けてしまいましたが、気持ちも声の大きさも他のチームに負けていなかったと思います。応援合戦以外にも、競技で勝ったときには、先輩がハイタッチで迎えてくれて全員で喜ぶなど、団結し、学年を超えたつながりを感じることができました。

私は初めての野中祭を通して、話し合うことの大切さを学びました。これからは、何かあったらみんなで話し合うようにし、さらによいクラス、学年を作っていきたいです。

2学期を振り返って

2学期を終えて、僕はたくさんのことを学べました。2学期の学校行事は、野中祭がありました。一人一人が真剣に取り組んでいて、その姿がとてもカッコよく、感動しました。団長として、勝ちに導きたかったのですが、悔しい結果に終わってしまったので、来年こそは、優勝をしたいです。

今は三役の一員としてクラスに関わっています。2Bは野中祭が終わると、クラス全体の仲が深まって、とてもうれしかったです。また、上級学校訪問では、みんなが自主性と協調性をもって、研修を行えたと思います。一から始めて、全員で研修を成功させることができてよかったです。

2年生は、学級に三役だけでなく、学級補佐という役割を作っています。補佐の人たちは、とてもいい仕事をしてくれて、三役を支えてくれているのでとても感謝しています。3クラスから2クラスになったので、1クラスの人数が増えて、少し心配でしたが、補佐の人たちと力を合わせて、2学期を終えることができました。

部活動では、キャプテン、副キャプテンが、がんばってくれて、それにつられて僕らも成長しました。

野中祭もクラスも、部活動も、みんなで知恵を出して、仲間と一つになってやってきました。振り返ってみると、とても楽しい2学期でした。3年生になる前に、残り少ない日々を仲間とたくさん笑って過ごしたいです。



2年代表

たくさんの「気づき」

僕はこの2学期さまざまな経験を通して、たくさんの気づきを得ることができました。

まずは、学校生活での気づきです。受験が近づいてくることもあり、1学期よりも放課や空いた時間を使って勉強する人が増えました。放課の雰囲気もよくなり、より勉強がしやすい環境になったと思います。これは、3年生の多くが、勉強への意識が高まり、受験に向けて準備しているからだ気づきました。

次は、掃除の気づきです。僕たちは、目標を掲げてくもく清掃を行ってきました。毎日呼びかけをしたり、リーダーが中心となって行動で示すことで、みんなが協力してくれるようになり、それが今では習慣になりました。毎日続けることで、できることが確実に増えていたことで、積み重ねの大切さに気づきました。

そして、2学期の一番のビッグイベント、野中祭では、大きな気づきを得ることができました。それは、協力の大切さです。僕は生徒会という立場で、司会や運営、生徒会の出し物や幕間などをやらせていただきました。その活動は、いろんな人たちからの協力で成り立っていました。野中祭が大成功に終わったのも、ここにいる全員の協力のおかげでした。僕は、野中祭が終わったとき、順位や結果以上に、全員で一つのものを創り上げた喜びの方が大きかったことを覚えています。このような経験から、周りの人たちへのありがたさにも気づくことができました。

成功も失敗も全部まとめて、経験だと思いました。3学期は、いよいよ進路を決定し、自分の道へと進んでいきます。3年生にとって、まだまだ苦しい状況は続きますが、この2学期に学んだ気づきを大切に、受験への準備、そして卒業への準備を進めていこうと思います。



3年代表